

カリキュラムマップ 保育科アフタヌーンコース (2025年度入学生)

入学前学習		1 年前期 2025		1 年後期 2025		2 年前期 2026		2 年後期 2026		3 年前期 2027		3 年後期 2027		卒業後	
・ 応答性 ・ 学習への意欲		基礎学力を整える時期				仲間と学び合い、 学びの基礎を固め、専門性を研く時期				一人一人が自律し、 実践力を高める時期				フ ォ ロ ー ア ッ プ	
保育現場を通じて 実践力を養う		保育探究Ⅰ				保育探究Ⅱ									
			【教職】実習指導 幼実Ⅰ（2月） 実践を通じた幼稚園教育の基礎理解				【教職】実習指導 幼実Ⅱ（10月末） 幼稚園教育を理解し実践力を高める 実習指導 保実Ⅰ（2月） 実践を通じた保育所保育の基礎理解			実習指導 施設（6月） 施設支援を理解し実践力を高める		実習指導 保実Ⅱ（10月） 保育所保育を理解し実践力を高める 実習指導 保実Ⅲ（10月） 施設支援を理解し実践力を高める 保育・教職実践演習 自己課題の明確化と資質能力の向上			
保育を 構築する	基礎理論 の理解	保育者論 保育者としての社会貢献のビジョン				教育原理 豊かな教育観の習得 保育原理 保育とは・保育理論の基礎を学ぶ		教育・保育課程論 教育課程・保育課程の理解 【教職】教育方法論 教育方法の多様性と影響力						【教職】教育制度論（渡部恭子） 教育の歩みと過去からの学び	
	領域及び 指導法の 理解	保育内容総論 保育内容の総合的理解と実践力 幼児と健康（8回） 幼児期の健康課題と発達の意味の理解 幼児と環境（8回） 幼児を取り巻く環境と発達の理解		幼児と人間関係（8回） 幼児期の人間関係と発達の理解 幼児と言葉（8回） 言葉に関する基礎的、専門的知識の理解 幼児と造形表現 造形表現の基礎的な知識・技術、表現力				保育内容・造形表現 発達に応じた造形活動を展開する力 保育内容・言葉 言葉のねらいと内容の理解 保育内容・健康 健康のねらいと内容の理解		【教職】保育内容・音楽表現 乳幼児を育む音楽表現活動 保育内容・人間関係 人間関係のねらいと内容の理解 保育内容・環境 環境のねらいと内容の理解					
	福祉の 理解			社会福祉 社会福祉の基礎的知識を身につける		こども家庭福祉 児童家庭福祉の理念や実施体系を知る 社会的養護Ⅰ 子どもを育てる社会の責任を考える		特別な支援を要する子どもの理解と 支援 特別な支援を要する子どもの個性 や心身の発達の理解と支援の方法 社会的養護Ⅱ 社会的養護観を身につける				子ども家庭支援論 子どもと家族のために考え支える姿勢			
子どもを 理解する	子どもの 理解と支 援	発達心理学 乳幼児の心身の発達及び学習の過程		【教職】 幼児理解・保育相談 幼児一人ひとりに応じた援助		乳児保育Ⅰ 3歳未満児の心と身体の発達と保育 子どもの理解と援助 子どもの心身の発達と保育実践		乳児保育Ⅱ 3歳未満児の保育と援助の方法 子どもの保健 成長発達や病気などを通して子どもを よく知る		教 育 相 談 教育相談(カウンセリング)の基礎的理解 子どもの健康と安全 子どもの健康と安全に関する知識と技術		保育相談支援 教育相談（カウンセリング）の理論と実践 子どもの食と栄養 子どもの発育に影響のある栄養と食物 子ども家庭支援の心理学 子どもの発達と子育て家庭の支援			
保育の表 現力、表 現技術 を身に につけ る	幼児音楽	幼児と音楽表現Ⅰ 幼児教育・保育の場に求められるピアノ演奏法と音楽表現力 幼児と音楽表現Ⅱ 楽典の理解・応用と実践												を 持 つ 保 育 者	
	幼児体育	体育Ⅰ 身体運動の基礎知識と動きづくり		体育Ⅱ 身体運動の基礎知識と動きづくり 運動会		幼児と身体表現 幼児の身体表現の基礎的知識・技術の修得 保育表現発表会									
	児童文化	児童文化Ⅱ～1（人形劇） 人形劇の理論と実際		文化祭		児童文化Ⅰ～1（表現あそび） 表現遊び（ダンス）の創作と実演									
相互理解力 を養う	学びの 基礎	保育キャリアデザインⅠ スタディスキルとソーシャルスキル SFD 危機管理講習会				保育キャリアデザインⅡ スタディスキルとソーシャルスキル SFD 危機管理講習会				SFD 危機管理講習会					
		情報基礎 保育者としての情報活用能力を修得する		日本国憲法 将来の主権者として憲法を考える 英語コミュニケーション 保育現場における英語の実践力を養う						専門教育演習 探究心と協調性を高める研究活動					
	豊かな 人間性	聖徳教育(学外研修) 行事体験、教養研修体験を通した「和」の実践 学外研修Ⅰ				学外研修Ⅱ									

幼2種免取得者は【教職】科目必修

＜専門領域科目＞ 1 領域専修、他領域含む 2 科目選択必修

自分の得意や興味に沿って、より深く学びたい領域を 4 つの領域から 1 つ選び、3 年次に●印の 3 科目必修、残り 2 科目を選択履修します。2 年次後期末に希望調査を行います。

3年前期2027

3年後期2027

学びを深める

A医療保育領域

医療保育の基本および病児や緊急時の子どもに対する保育者のケア方法の基礎を学びます。
子どもが病気の時、単に保護者に代わって保育士が子どもの世話をするだけではなく、病気にかかっている子どもにとって最も重要な発達のニーズを満たす必要があります。専門家との連携(保育士・看護師・医師等)による保育と医療の関係性や、医療的ケア児に対する危機管理の方法を身につけ、病児・病後保育の実践方法を学びます。
(関連科目:「子どもの保健」、「子どもの健康と安全」、「保育内容・健康」、「特別な支援を要する子どもの理解と支援」など)
(強みを生かせる進路:病棟保育、乳児院、保育所、子ども園、学士課程3年次編入)

B児童文化領域

乳幼児の想像力や情緒の芽生えを育てるために、発達に結び付いた人形劇や折り紙などの児童文化財の演技や指導法、技術を習得し、実践に活かす力を養います。
「保育の聖徳」の伝統である児童文化の保育実技科目を通して、保育現場での即戦力としての技術・技能の向上を図ります。
(関連科目:「児童文化Ⅰ～1(表現あそび)」、「児童文化Ⅱ～1(人形劇)」、「児童文化Ⅲ～2(折り紙)」など)
(強みを生かせる進路:幼稚園、保育所、子ども園、学士課程3年次編入)

C保育表現領域

豊かな表現活動のため、表現を応用できる知識と技術を習得し、子どもの興味や関心を広げられる能力を養います。
5領域の「表現」を育むには、どのような遊びを展開すればよいのかを考え、子どもの感性や創造性を育むうえで大切となる、「声かけや援助の仕方」を学び、保育に役立つ「遊びの実践例」と「援助の方法」を学ぶ。
(関連科目:「幼児と音楽表現Ⅰ」、「幼児と身体表現」、「保育内容・造形表現」など)
(強みを生かせる進路:幼稚園、保育所、子ども園、学士課程3年次編入)

D特別支援保育領域

特別な支援を要する子どもの自立や社会参加に向けて主体的な取り組みができるように、様々な支援について理解を深めるとともに、指導法の在り方について学びます。
ダイバーシティとインクルージョンの視点から、保育における多文化保育の理論と実践を学び理解します。障がいのあるなしに関わらず、個性の違う仲間との触れ合いや支え合いを通して、社会的存在の人間として育つ力を十分に保障するための保育の在り方(特別支援保育)を身につけます。
(関連科目:「特別な支援を要する子どもの理解と支援」、「発達心理学」、「子ども家庭支援論」、「乳児保育Ⅰ、Ⅱ」など)
(強みを生かせる進路:幼稚園、保育所、子ども園、学士課程3年次編入)

専門教育演習

探究心と協働性を高める研究活動

グループ研究

●A1 保育士に必要な医学医知識

子どもの健やかな成長、発達およびこどもの病気とその予防を知る

●A2 医療保育論

医療を要する子どもと家族に対して行われる保育（養護と教育）と支援について理解する

●B1 創作文芸

紙芝居作りと実演技術の修得

B5 子どもビジネスの世界

子どもの生活と経済活動

●C1 歌唱指導・楽器遊び

音楽を活かした表現を創造し、子どもと遊ぶ力の基礎としよう

●C3 子どもと運動遊び

運動あそびの実践

●D1 障害児の保育

障害のある乳幼児の保育を考える

●D2 障害児心理学研究

障害のある子どもの心理・行動特性を理解する

●A3 病児保育研究

体調の良いくない子どもの保育を理解する

A4 医療・保育連携論

体調のよくない子どもに対し医療と連携した保育ができる力を獲得する

A5 医療保育とセーフティマネジメント

医療を要する子どもと家族に対して行われる保育（養護と教育）において、セーフティマネジメントの必要性を理解する

●B2 児童文化Ⅰ～2（表現あそび）

表現遊び（ダンス）の創作と指導

●B3 児童文化Ⅱ～2（人形劇）

さまざまな保育教材を学ぶ

B4 児童文化Ⅲ～2（折り紙）

折り紙の多様な活用法

●C2 子どもと造形表現

版画や紙粘土を使用し、幼児の造形表現を豊かに展開する方法を体験的に学ぶ

C4 ピアノ上級

ピアノ実技

C5 子どもとリズムダンス

保育者として、子どもの発達をふまえ、リズムダンスを考案し実践する

●D3 特別支援事例研究

具体的な事例に基づく支援の方法を学ぶ得

D4 多文化保育

保育における多文化理解

D5 インクルーシブ教育論

共生社会の基盤となるインクルーシブ教育システムの構築に向けて

👉身につく力

医療と連携し、乳幼児の健康・病気予防・怪我への応急処置等に関する基本的知識を身に付け、現場で実践できる。

👉身につく力

乳幼児の情操や想像力を育てる児童文化財の知識と実技の修得を通して、乳幼児の表現を創造する過程を援助することができる。

👉身につく力

身体表現や音楽等の豊かな表現方法の知識と技術を修得し、乳幼児の表現方法の幅を広げることができる。

👉身につく力

特別な支援を要する子どもや多文化保育の理論を学び、一人一人の乳幼児に適切な援助をすることができる。

聖徳大学幼児教育専門学校が目指す保育者

を持つ保育者